

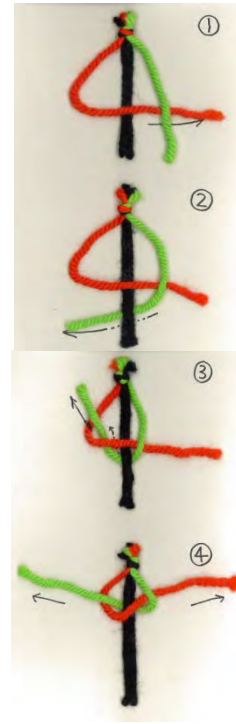
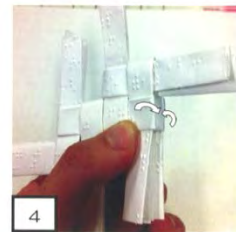
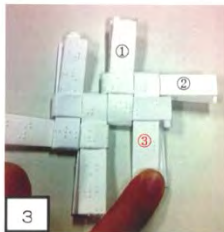
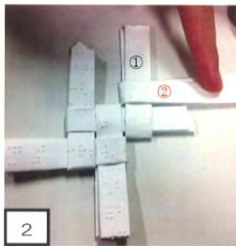
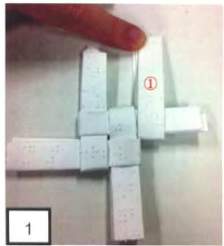
作業手順訓練

【目的】

手順把握手段(実物、写真、図や絵を用いた指示・手順書・チェックリストなど)による正確な作業遂行

【内容】

- ・紙素材の作業(封筒・袋づくり、箱・カゴ作り、折り紙、包装等)
- ・紐素材の作業(マクラメ、組みひも等)
- ・組み立て作業(ブロック等)



封筒作製手順

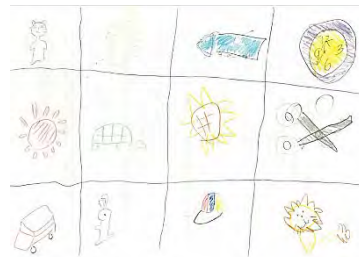
	工程チェック
①台紙を紙の中央に置く。	
②左側を折る。	
③右側の端(2~3cm)のにりをつける。	
④左側を下・右側が上になるように、折って貼りつける。	
⑤台紙に沿って上下を折る。	
⑥上下の両端を斜めにハサミで切る。	
⑦上下の内側の1枚を折り目に沿ってハサミで切る。	
⑧右側が上に来るようにして、下側のにりをつける。	
⑨台紙を出す	
⑩完成	

学習ワーク

【目的】

- ・認知機能の改善
- ・状況理解、判断力の向上
- ・コミュニケーション能力の向上
- ・協調性、集団ルール理解
- ・社会生活力の向上
- ・自己理解を深める

ゲーム・クイズ・パズル系



- ・ジェスチャー、ものまね
- ・連想ゲーム、軍艦ゲーム
- ・路線図、チラシクイズ
- ・オリエンテーリング
- ・ストーリー並べ
- ・課題遂行ワーク
- ・都道府県クイズ
- ・カードゲーム
- ・間違いさがし
- ・図形クイズ
- ・9メモリー

1. ホウロウをあげる
2. いいおうちをあげる
3. まいをあげる
4. コッパから木エホンとを出す
5. イスにあがる

ロールプレイング・シミュレーション系

- ・牛丼屋
- ・買い物ワーク
- ・コミュニケーションスキル



ディスカッション系

- ・無人島ゲーム
- ・スピーチ、インタビュー
- ・バリアフリーワーク

テーマ:	B BQの予定をたてる				
目標合計金額:	10,000				
条件:	B BQの道具 100円				
優先順位	商品名	単価(円)	個数・数量	小計(円)	合計(円)
○	牛丼	1000-			
○	焼肉	700-			
○	ビール	1000-			
○	焼肉	1000-			
○	焼肉	300-			
○	焼肉	80-			
○	百均	700-			
○	百均	60-			



学習系

- ・マス計算
- ・熟語づくり
- ・プリント学習
- ・就労ワーク

創作系

- ・粘土
- ・集団絵画

グループワーク

【目的】

- ・楽しみ、ストレス発散や達成感の充足
- ・社会生活に必要な知識の習得



【内容】

- ・レクリエーション
(軽スポーツ・創作)
- ・収穫祭(調理)
- ・季節行事
- ・外出
- ・教養

移動支援について

【目的】

通所・通勤・通学

【目的地】

自宅⇔施設・会社・学校（屋内移動を含む）

【手段】

徒歩・公共交通機関（電車・バス）・自動車

支援内容について

【公共交通機関】

① 目的地までの移動ルートの確認

↓ (移動手段の確認)

② 同行し目的地までの移動状況の確認

↓ (全ルート→部分的)

③ できていること・困難なことの確認

↓

代償手段等の検討・導入

移動時に困難なこと(例)

- 人ごみや街中に行くと疲れてしまう
- 確認せずに乗車してしまう
- 案内板や標識に気が付かない
- 人にぶつかってしまう
- 目的地や外出の目的を忘れる
- 新しい道が覚えられない
- 切符や財布を無くしてしまう
- 自動券売機の操作方法を忘れる

移動時に困難なこと(例)

- 臨機応変に行動することが困難
- 計画を立てることが困難
- 時間通りに行動することが困難
- 援助を求めること困難
- 疲れやすい
- 環境が整備されていない
- 公共交通機関がない

など

代償手段について

- 地図・写真の活用
- 携帯電話の活用（アラーム・メール等）
- 手順書の活用

乗降に必要な操作方法

トラブルへの対処方法

援助依頼の方法

複雑なものではなく簡単に使用できるもの

移動支援を行った例

【プロフィール】Aさん 30代 男性 無職

【障害名】高次脳機能障害(記憶、注意、遂行機能障害、発動性低下)

【障害原因】頭蓋咽頭腫

【手帳】精神障害者保健福祉手帳2級

身体障害者手帳 5級

【家族構成】妻、子

【経緯】X年発症、X+3年より 1年半生活介護利用(週5日)、

就労の希望があり生活訓練を週3日から開始

【主な課題】

記憶障害が顕著 易疲労、発動性の低下、

促しがないと行動できない、単独での公共交通機関未経験

移動時の評価について

目的地までの移動ルートの確認

【路線バスの利用】

自宅

↓ 徒歩

自宅最寄バス停

↓ バス(乗換なし、乗車時間40分程度)

リハセンターバス停

移動時の評価について

【路線バスの利用】

- 自宅最寄りバス停までの移動は可能
- 乗換えが無く、徒歩での移動距離も短い
- 手帳の使用が可能
- 乗車時間が長い
- 路線バスの使用は未経験
- 手帳を提示することを忘れる
- 帰宅時は疲労もあり、乗車中入眠してしまう

移動時の評価について

目的地までの移動ルートの確認

【電車の利用】

自宅

↓ 徒歩

最寄り駅

↓ 電車(乗換え1回、乗車時間それぞれ10分程度)

リハセンター最寄駅

↓ 徒歩

リハセンター

移動時の評価について

【電車の利用】

- ・ 自宅最寄り駅までの移動は可能
- ・ 乗換え・電子マネーの使用は可能
- ・ 乗車時間が短い
- ・ 受傷前電車通勤をしていた
- ・ 帰宅時は疲労もあり短時間でも入眠してしまう
- ・ 移動の目的や目的地を忘れる

(センター最寄り駅からセンターまでの間に

定期受診している病院がある)

移動時の評価について

○できていること

- ・最寄り駅までの移動は迷うことなく可能
- ・電子マネーの使用や乗換えは可能

○困難なこと

- ・目的地を忘れてしまう。
 - ・どこに行くか忘れる
 - ・何をしに行くのか忘れる
- ・最寄駅で降りられない(寝ている)
- ・援助依頼ができない

移動支援について

○課題について

- 目的地を忘れてしまう
- 最寄駅で降りられない(寝ている)



○対応方法

- 携帯電話の活用(アラーム・メール)
- 生活訓練に慣れ、体力を向上する